

# こんにちは

日本共産党  
北九州市議会議員

平和とくらしを守る政治へ……がんばります！

# 荒川とおるです



北九州市が加盟している平和首長  
会議は、昨年8月の総会で、「核兵器  
禁止条約の早期締結」を重点取組事  
項とする決意を表明しました。

一方、昨年7月7日、国連で「核  
兵器禁止条約」が採択され、核兵器  
廃絶国際キャンペーン、ICANが  
ノーベル平和賞を受賞するなど、世  
界が核兵器禁止・廃絶にむけて大き  
く動いています。

長崎に投下された原爆の第一目標  
が小倉であることから、2012  
年2月、北九州市は、「非核平和都市  
宣言」を行いました。

一方、昨年7月7日、国連で「核  
兵器禁止条約」が採択され、核兵器  
廃絶国際キャンペーン、ICANが  
ノーベル平和賞を受賞するなど、世  
界が核兵器禁止・廃絶にむけて大き  
く動いています。

北九州市が加盟している平和首長  
会議は、昨年8月の総会で、「核兵器  
禁止条約の早期締結」を重点取組事  
項とする決意を表明しました。

大型店に押され厳しい状況にある、地  
域の市場や商店街への支援強化が必要で  
す。

市場・商店街支援  
**抜本的に強化を**

## 日本共産党戸畠区生活相談所

暮らしや福祉に関して困っていることや、賃金  
や労働条件等の労働相談など、気軽にお立ち寄り  
ください。電話での相談も受け付けています。

また、法律事務所のご協力により、弁護士による法律相談（事前予約制）も行っています。



戸畠区天籟寺1丁目1-15  
☎ 093-873-3735

「戸畠子どもと  
母のとしょかん」  
3月31日で閉館となりました

市議会及び市長に対し、「存続を  
求める会」が合わせて5千人分以上  
の署名を提出し、ねばり強い運動を  
続けてきましたが、市は公共施設の削減計画を盾に、廃止を強行しました。  
市は、廃止に伴う対策として、夜宮児童館の蔵書を増やすなどと  
していますが、「存続を求める会」では、今後も子どもたちの「居場所」づくりが必要だとしています。

市議会ニュース

2018.4.27  
No.534

# 100万人の笑顔のために

発行 日本共産党北九州市議会議員団 北九州市小倉北区城内1-1 TEL (093) 582-2646・FAX (093) 582-4113

日本共産党北九州市議団 <http://www.jcp-kitakyu.jp/>



# 日本共産党の提案

日本共産党市議団は、3月議会でも市民の様々な要求を市政に反映させるために提案・論戦をしてきました。主な提案を紹介します。

## 地域経済対策

2015年2月のN T Tデータ研究所の分析結果によると、市内の大企業はこれまで合計276件も製造業が海外移転。市内の雇用吸収力の低下と、市内生産活動の縮小は北九州市の経済にとって看過できないマイナス要因となっています。

はっきりしているのは、



雇用吸収力が一番高く、市民生活に欠かせない医療、介護、福祉分野や、市内企業の98%を占める中小企業分野の対策を抜本的に強化してこそ、市経済の活性化ができる。

大企業頼み、大型公共事業頼みの従来型経済対策は完全に破たんしたということです。

### 北九州市の人口・経済状況

・人口	4年連続の転出超過日本一で現在96万人
・雇用数	2005年以降10年間で14,981人減少
・製造品出荷額	2007年以降7年間で1,850億円減少
・小売業販売額	同年間で1,773億円減少
・勤労世帯収入	2007年以降8年間で1世帯あたり年平均一ヶ月実収入が16,463円減少

## 介護保険料

国保への市独自繰入金の減額分を充てれば値上げはしなくていい。

介護保険料は制度発足当時の2000年には基準月額で3,150円だったのが、今年度から同6090円へと、1.9倍に値上げされます。日本共産党市議団は、12億円余あれば値上げせずに済む、国保への市の独自繰入金を19億円減らしてあり、それを財源に値上げすべきでない、と提案しました。

実際に一般会計からの繰り入れで保険料を下げている自治体もあります。

## 生活保護

保護の基準額等を知らせるパンフレットを作成し制度を知らせるべき。

生活保護の最大の問題は、受給の権利がある人の内、実際に受給している人の割合が全国平均で2割程度にとどまっていることです。

日本共産党は、①保護の利用は、どこに行って何をすればいいのか②保護の基準額はいくらか③収入が保護基準額以下であれば不足額が支給される④居宅や自動車を所有していても申請できる……等を知らせるパンフレットを作成して広範に知らせるべきだと主張しました。

## 学校・ママさんバレーも有料

文化・スポーツ活動を保障するため、学校施設の有料化は撤回を。

公共施設の削減とともに、公の施設の有料化も市民にとっては重大です。学校の体育館や運動場などの使用も有料化する計画です。

盆踊りや敬老会等の地域行事はこれまで通り無料ですが、ママさんバレーや野球など大人のスポーツ活動での使用は有料です。

地域の文化・スポーツ活動を保障するためにも、有料化を撤回するよう求めました。

## 下北道路

### なぜ活断層の上に!?

「第2関門橋」といわれ、財政難からいったん凍結された計画が「下関北九州道路」として復活、ルートが正式決定されるなど新たな段階に入っています。

ルートは、2000年当時に建設省が決めた位置と全く同じ下関・彦島迫町～小倉北区西港町。彦島側の位置はちょうど小倉東断層の真上。なぜわざわざ活断層の上に作るのか。それだけでも無謀な計画といえます。